

平成29年度 愛川高校 不祥事ゼロプログラム検証結果

	策定項目	実施内容	自己評価・検証
(1)	入学者選抜にかかわるもの (面接・学力検査・入学者選抜のデータ処理・入学者選抜各種書類作成)	<ul style="list-style-type: none"> ・選抜要項の改善 ・過去事例紹介と対策 ・面接時の注意 ・データ点検方法 	1月に2回事故防止会議で過去の事例などを示し重点的に確認した。これにより、選抜業務全般で事故防止意識の向上が見られ、事故はなかった。
(2)	成績処理にかかわるもの (試験作成・試験配布・成績作成・成績入力・調査書作成のデータ処理)	<ul style="list-style-type: none"> ・点検体制確認 ・試験監督注意事項確認 ・啓発資料作成と配布 ・データ処理確認 	6月、9月の重点テーマとし、問題作成から成績処理まで、教員相互の点検体制やデータ処理方法について注意喚起した。試験前にはその都度注意喚起し、事故防止を進めたい。
(3)	情報にかかわるもの (個人情報・守秘義務・デジタルデータの扱い)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における個人情報 ・USB等届出書類確認 ・事例紹介資料作成と配布 	10月に県警から講師を招き、SNS利用上注意など個人情報の保護に関する研修会を行った。注意点が確認でき、年間での事故防止につながった。
(4)	財務にかかわるもの (学校徴収金・合宿費・部費・物品購入・業者選定)	<ul style="list-style-type: none"> ・会計基準確認 ・財務調査結果報告 ・啓発資料作成と配布 	4月のテーマとし、私費における手続きや部活動関連費等の扱いを担当者会議で確認した。財務調査指導でも大きな問題はなかった。
(5)	様々な事故にかかわるもの (交通事故・部活等の怪我対応・緊急時の危機管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導時の事故防止 ・飲酒事故の防止 ・危機管理マニュアル作成 ・啓発資料活用 	7月のテーマとし、部活動の事故、熱中症予防や体罰についての注意喚起を行った。また、様々な場面での緊急時対応は、日頃から意識する必要がある。交通事故については2回事故防止会議のテーマとし、取り組んだ。
(6)	人権にかかわるもの (セクハラ・暴言・体罰・不適切指導・パワハラ・来客業者対応・電話対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚の涵養 ・啓発資料作成と配布 ・事例紹介 ・県民目線での対応 	6月2回目のテーマとした。いじめ、セクハラ、性的マイノリティに対する無理解や無意識の差別など、人権感覚の欠如に注意したい。生徒や保護者対応のトラブルも『心ない一言』が引き金になる。
(7)	公務外非行にかかわるもの (わいせつ行為・酒酔い、酒気帯び運転・窃盗など)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介 ・啓発資料活用 ・事故防止演習問題 	11月に公務外非行全般の飲酒のトラブルについての注意を行った。他人事とは思わずに、起こさなくて当たり前だが、襟を正し続ける事に意義がある。
※	初任者に対する研修指導 (サービス・業務全般・入選業務)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止会議の意義 ・啓発資料活用 ・選抜要項の解説 ・校長との個別面談 	初任者には校長面談を行い、経験や知識不足による事故の防止に努めた。